



ふうの木のある学校からⅡ

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 4月号 文責 校長

1年生をふりかえって

(令和6年度) 1年 本田ののほ

わたしは、1年生になったこの1年間で、たくさんのお話を学びました。

その中で一番学んだことは、「思いやり」です。「思いやり」をどうやって学んだかという、1の1の友だちと助け合ったり、勉強で困っている人にアドバイスをしたりしながら、思いやりを学びました。小夜子先生が、「ののほさん、思いやりがすばらしいね。」と言ってくれました。とてもうれしかったです。

思い出もたくさんできました。

一番がんばったことは、運動会です。運動会では、全校リレーに出て、白団の代表としてがんばって走りました。2年生に3位でバトンをわたせて、とてもうれしかったです。

2年生でも「思いやり」を大切に、いろいろなことをがんばっていきたいです。

粘り強さ、我慢強さ、思いやり

令和7年度がスタートしました。

3月25日(水)の修了式において、子供たちが「できる」「わかる」ことを増やすために必要なことを示しました。

子供たちをほめるときは、良い結果だけではなく、その努力を認めることによって、子供たちは、「努力することで自分の能力を向上させることができる」と信じるようになる。という心理学理論(成長マインドセット)の活用です。

目標に向かって、粘り強く、失敗を前向きにとらえ、他者に思いやりをもって生活できるよう、上記のことを、ご家庭や地域と共有していきたいと考えています。

本年度も、ご理解・ご支援・ご協力・ご指摘をどうぞよろしくお願い申し上げます。

3年生をふりかえって

(令和6年度) 3年 福山 愛来

もうすぐ、3年生が終わります。今までの生活をふりかえってみました。

わたしは、学習面でがんばったことが2つあります。

1つ目は、国語です。3年生では、200字の漢字を習ったので、覚えるのが大変でした。また、同じ読み方の漢字が多かったので、その使い分けがとても難しかったです。それでも、繰り返し練習をして覚えることができるようになりました。

2つ目は、音楽です。音楽ではリコーダーのふき方を練習しました。わたしは、リコーダーをふくのが初めてだったので、指づかいがとても難しかったです。今では「聖者の行進」などリコーダーで演奏することができるようになりました。

次に、生活面でがんばったことが2つあります。

1つ目は、あいさつです。わたしは、1・2年生のころは、小さい声であいさつしていました。それでも、3年生になったら大きな声であいさつができるようになりました。とてもうれしかったです。これからも、大きな声であいさつしようと思います。

2つ目は、清掃です。わたしは、3年生のはじめのころ、あまり隅々までそうじをしていませんでした。でも、3年生の終わりになると、隅々までちゃんと拭くことに気を付けるようになりました。

すると、毎日隅々まで拭けるようになりました。うれしかったです。これからも、隅々までていねいにそうじしようと思います。

もうすぐ4年生なので、4年生になっても勉強や運動をがんばりたいです。また、クラブ活動も始まるので、今から楽しみにしています。

今日から、明日へ

学年や学級を担当する先生方、
特別支援学級を担当する先生、
理科、音楽、外国語を受け持つ先生、
算数指導をチームで支えていただく先生、
学校運営に係る事務全般を担当する先生
給食の安全管理を担当する先生、
学校の環境整備を担当する先生
支援を要する児童を見守る先生、
図書の貸出や図書室の管理をする先生 等々

学校はたくさんの役割を担う方々が、組織的につながることによって、教育活動を展開しています。

法律上、児童数によって学級数や決まること、それを踏まえて先生方の配置が決められていること等は、ご存じのことかと思えます。

そこから学級編成が行われるので、子供たちの先生や友達との出会いは、心理的に様々なことが起こることが想定されます。

今日、新年度、新学期のスタート。
子供たちは、先生や友達との新しい出会いをどう受け止めたでしょうか？

おそらく、様々な感想をもって帰宅したことと思います。

まずは、子供たち思いをていねいに聞き取ってください。

次に、先生方がこれから1年間、子供たちの力を引き出す努力をすることを伝えてください。

今日を楽しく、明日を前向きに迎えるひとつの方法です。

睡眠時間

疲労回復、記憶の整理、成長ホルモンの分泌等睡眠は、子供たちのみでなく人間の生活に欠かせない活動です。

年度当初は、新しい環境に慣れるために、体や脳が無理をしている場合があります。しっかり睡眠をとらせてください。

① なぜだろう？ ② どう思う？

③ どうしたらいい？ ④ 要するに？

⑤ たとえば、どういうこと？

⑥ 楽しむには？ ⑦ 何のため？

⑧ そもそも、どういうこと？

⑨ もし～どうする（どうなる）？

⑩ ほんとうだろうか？

脳の考える力をバージョンアップする10のマジックワードです。

「同じ勉強をしていて、なぜ差がつくのか？」という本からの引用です。

先生方にも、学校の授業や生活場面で活用するよう紹介しました。

どれからでも活用は可能です。

②・③・⑤ぐらいからだ、低学年でも大丈夫だと思います。

スマホ（考）

春休み中、子供たちが学校に来て遊んでいる姿がありました。

ところが、先日数名の子供たちが、正面玄関口で機嫌悪そうに座っていました。

「どうしたの？」

と聞くと、

「〇〇さんが、スマホで写真や動画をとろうと、カメラ画面をこっちに向けてくる」という話を返してきました。

さて、皆さんはどうしますか？

①「こっちを撮らないで！」と子供たち同士で解決させる。

②大人が、撮った子供、撮られた子供の言い分を聞いて、撮った方に注意を促す。